

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	横浜ビューティーアート専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	7単位	7単位	
	ヘアメイク科	夜・通信	7単位	7単位	
	美容研究科	夜・通信	4単位	4単位	
文化・教養専門課程	トータルビューティー科	夜・通信	8単位	7単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を職員室に設置し、広く一般に公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	横浜ビューティーアート専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R7.6.16～ R7.6.16から4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	法務
非常勤	弁護士	R7.6.16～ R7.6.16から4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	法務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜ビューティーアート専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> <p>原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。</p> <p>公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度4月を目途とする)</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全履修科目の評定（5 点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に 2 回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/2026/docs/schoolinfo.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。

なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

[https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
beauty/disclosure/2026/docs/schoolinfo.pdf](https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/2026/docs/schoolinfo.pdf)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	横浜ビューティーアート専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67単位	19 単位	69 単位	2 単位	0 単位	28 単位
	夜						
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
420人		326人	0人	27人	65人	92人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。

<p><目指すべき人材像> 美容師国家資格を取得し、美容技術を通して社会で活躍する人材。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
113人 (100%)	1人 (0.9%)	108人 (95.6%)	4人 (3.5%)
(主な就職、業界等) 美容室、エステサロン、ネイルサロン、メイク事務所、ホテル等の美容、ブライダル業界			
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格、ABE まつ毛エクステンション Assistant director トータルメイクアップ検定 ベーシック JNEC ネイリスト技能検定試験 3級 パーソナルカラーコーディネーター検定 ベーシック きもの講師免許 2~3級 サービス接客検定 1~3級 花嫁着付け 2~3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
260人	24人	9.2%
(中途退学の主な理由) 目標喪失、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーの設置、また中退希望者、中退者支援のための面談等実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	ヘアメイク科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位	20 単位	18 単位	2 単位	0 単位	28 単位
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
210 人	176 人	0 人	27 人	65 人	92 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p><目指すべき人材像></p> <p>美容師国家資格を取得し、ヘアメイク技術を通して社会で活躍する人材</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70 人 (100%)	0 人 (0%)	68 人 (97.1%)	2 人 (2.9%)

<p>(主な就職・業界等)</p> <p>美容室、エステサロン、ネイルサロン、メイク事務所、ホテル等の美容、ブライダル業界</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>履歴書添削、面接指導等</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>美容師国家資格、ABE まつ毛エクステンション Assistant director トータルメイクアップ検定 ベーシック JNEC ネイリスト技能検定試験 3級 パーソナルカラーコーディネート検定 ベーシック きもの講師免許 2～3級 サービス接客検定 1～3級 花嫁着付け 2～3級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
165人	10人	6.1%
(中途退学の主な理由) 病気・けが、目標喪失等		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーの設置、また中退希望者、中退者支援のための面談等実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	美容研究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	31 単位	21 単位	9 単位	単位	0 単位	7 単位
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70 人	59 人	0 人	27 人	65 人	92 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> 主体性・共感力・おもてなし力を身につけ、美容技術を通して社会で活躍する人材
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33 人 (100%)	0 人 (0%)	33 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 美容室、エステサロン、ネイルサロン、メイク事務所、ホテル等の美容、ブライダル業界			

(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導等
(主な学修成果 (資格・検定等)) 美容師国家資格 ABE まつ毛エクステンション Assistant director
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	1 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 病気・けが、目標喪失等		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーの設置、また中退希望者、中退者支援のための面談等実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門	トータルビューティーク	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		62単位	117単位	142単位	5単位	0単位	13単位
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	242人	2人	27人	65人	92人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。 作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、 2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を 総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、 それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目と みなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の 認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> 主体性・共感力・おもてなし力を身につけ、美容技術を通して社会で活躍する人材
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常 に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校 にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
125人 (100%)	31人 (24.8%)	83人 (66.4%)	11人 (8.8%)
（主な就職、業界等） 美容室、エステサロン、ネイルサロン、メイク事務所、ホテル等の美容、ブライダル業			

界
(就職指導内容) 履歴書添削、面接指導等
(主な学修成果(資格・検定等)) CIDESCO インターナショナル エステティシャン AEA 上級認定エステティシャン AJESTHE 認定 エステティシャン AJESTHE 認定 上級エステティシャン AJESTHE 認定 フェイシャルエステティシャン AJESTHE 認定 ボディエステティシャン JEO 認証エステティシャン TRADITIONAL ABIAN アロマセラピー検定(アドバイザー)1級 トータルメイクアップ検定 ベーシック トータルメイクアップ検定 アドヴァンス JNEC ネイリスト技能検定試験 1～3級 JNA ジェルネイル技能検定試験 初級～上級 JNA ネイルサロン衛生管理士 パーソナルカラーコーディネーター検定 ベーシック きもの講師免許 2～3級 サービス接遇検定 1～3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
258人	24人	9.3%
(中途退学の主な理由) 病気・けが、目標喪失等		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーの設置、また中退希望者、中退者支援のための面談等実施		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	100,000 円	800,000 円	430,000 円	その他 (施設費・実習費等)
ヘアメイク科	100,000 円	800,000 円	430,000 円	その他 (施設費・実習費等)
美容研究科	80,000 円	370,000 円	180,000 円	その他 (施設費・実習費等)
トータルビューティー科	100,000 円	750,000 円	530,000 円	その他 (施設費・実習費等)
修学支援 (任意記載事項)				
内部進学者に限り美容研究科の入学金は免除となる。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-sweets/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者として、関連分野の業界関係者、卒業生、ならびに地域に根差した関連企業等の中から3名以上を選出し、学校関係者評価委員会を設置する。</p> <p>委員の選出区分は、企業関係者、卒業生、保護者等とし、当該学校の教職員は委員となることができないものとする。</p> <p>同委員会においては、教育目標および教育活動について評価を行うものとし、主な評価項目は、教育課程、進路指導、学生支援、教育環境等とする。</p> <p>評価に当たっては、「専修学校における学校評価のガイドライン」に定める評価項目を用いて実施した自己点検・自己評価の結果を基に行うことを基本方針とする。</p> <p>また、評価結果は学校のホームページで公表するとともに、委員会で得られた意見については速やかに集約し、各業務担当者へフィードバックする。</p> <p>さらに、評価結果を踏まえた改善方策については、実施時期および責任者を明確にした上で計画的に実行し、学校運営の改善に活用するものとする。</p>		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社そごう・西武	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	関連業界等関係者
株式会社ケンジ	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	関連業界等関係者
飛鳥未来きぼう高等学校 横浜みなとみらいキャンパス	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	教育に関し知見を有する者
株式会社 USP	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生
第三者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-sweets/
(備考) 第三者評価未実施 (実施準備中)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/yokohama-beauty/disclosure/
--